



総会で挨拶する山下武右会長

一昨年初めに顕在化した新型コロナウイルス感染症は、新たな変異株も現れて収束する兆しがありません。児玉源太郎顕彰会は令和4年度総会を5月28日に周南市文化会館3階展示室で開催しました。一昨年は緊急事態宣言下で書面開催、コロナ禍ながらの対面開催は昨年同様です。

総会には60人が出席、山下武右会長が「顕彰会は設立して7年目に入ります。順調な活動は皆様のご支援、ご協力のおかげです。今年度は徳山港開港百年、児玉神社遷座百年の節目の年。先人たちに感謝を捧げながら、社殿改修など児玉神社遷座百年記念事業を成功させたい。遷座百年奉賛会を支える顕彰会の存在は大きい。これからもよろしくお願ひしたい」と挨拶しました。

議案は役員を選任、令和3年度事業報告と収支決算、令和4年度事業計画と収支予算の3議案で原案通り承認されました。役員は任期2年の改選で、会長に山下さん、副会長に岡田幹矢さん、藤井英雄さん、小野英輔さん、宮本治郎さんを再任、卜部博文さんを新たに

選びました。理事は赤坂徳靖さんから10人を再任、原田康宏さんを新たに選びました。幹事の野村俊文さんも新任です。理事の梶山正一さんと原田茂さんは退任されました。

事業報告は、会報「藤園」6号とニュースレター「本丁通信」9号、10号の発行、7月24日の「藤園忌」には児玉神社（黒神直大宮司）で命日祭、菩提寺の興元寺（金子清学住職）で墓前供養を開催、「藤園忌」にちなんだ俳句募集など。茶会はやむをえず中止しました。会員は寄付金14人、賛助会員48件・人、個人会員311人。総数で373件・人。ほぼ前年並みでした。

事業計画では、会報「藤園」7号とニュースレター「本丁通信」11号、12号の発行、7月23日に藤園忌の茶会、24日に命日祭と供養、6月から7月にかけて俳句募集。児玉源太郎ゆかりの地を訪ねる第2回台湾の旅はコロナ禍のために一昨年から中断しています。奥州市の後藤新平顕彰会、札幌市の新渡戸稲造と札幌夜学校を考える会、乃木希典を顕彰する東京の乃木中央会との交流も進めます。

総会のあと、北九州市立大学名誉教授の小林道彦さんの記念講演「児玉源太郎と新渡戸稲造・後藤新平」ロシアのウクライナ侵攻から考えたこと」を開催しました。「藤園」7号の寄稿を踏まえて児玉らが明治時代、欧州視察した頃のロシアと欧州との関係、現在はロシアの飛び地になっているカリニングラードの役割など貴重なお話でした。

令和3年度収支決算と令和4年度収支予算は次頁に掲載していますのでご覧ください。

編集・発行  
 児玉源太郎顕彰会  
 〒745-0874  
 山口県周南市公園区5854-41  
 周南文化協会 内  
 TEL. 0834-22-8190

印刷 俳 精文社  
 山口県周南市若宮町1-55  
 TEL. 0834-21-1611



令和4年度総会の会場風景



講演される小林道彦さん

号とニュースレター「本丁通信」11号、12号の発行、7月23日に藤園忌の茶会、24日に命日祭と供養、6月から7月にかけて俳句募集。児玉源太郎ゆかりの地を訪ねる第2回台湾の旅はコロナ禍のために一昨年から中断しています。奥州市の後藤新平顕彰会、札幌市の新渡戸稲造と札幌夜学校を考える会、乃木希典を顕彰する東京の乃木中央会との交流も進めます。

令和4年度 収支予算書

令和3年度 収支決算書

【収入の部】

(単位:円)

科目	予算額	前年度 決算額	備考
繰越金	2,285,292	1,292,927	
会費	2,500,000	1,432,000	役員会費 個人会費 賛助会費
寄付金	500,000	921,000	寄付金
助成金	0	1,000,000	
雑収入	200,000	245,909	会報「藤園」販売 「藤園忌」茶会チケット DVD販売 利息等
合計	5,485,292	4,891,836	

【収入の部】

(単位:円)

科目	予算額	決算額	備考
繰越金	1,292,927	1,292,927	令和2年度より
会費	1,500,000	1,432,000	個人会費 622,000 賛助会費 810,000
寄付金	500,000	921,000	寄付金
助成金	0	1,000,000	西京教育文化振興財団より
雑収入	200,000	245,909	会報「藤園」販売 21,900 DVD販売 224,000 利息等 9
合計	3,492,927	4,891,836	

【支出の部】

(単位:円)

科目	予算額	前年度 決算額	備考
会議費	50,000	15,660	会場費等
通信費	300,000	244,483	切手・葉書 郵送代
消耗品費	100,000	76,094	印刷用紙・インク
印刷製本費	1,000,000	950,400	「藤園」「本丁通信」、封筒
備品購入費	50,000	7,700	
書籍購入費	50,000	12,540	
渉外費	100,000	95,768	慶弔費
宣伝広告費	10,000	7,700	ホームページ
事業費	1,700,000	376,318	総会&講演会 「藤園忌」茶会&俳句 命日祭、墓前供養、 児玉神社遷座百年奉賛金
負担金	30,000	15,000	諸会費
事務局費	1,000,000	763,199	賃金・賃料・光熱水費
手数料	50,000	41,682	郵便振替手数料
予備費	1,045,292	0	
合計	5,485,292	2,606,544	

【支出の部】

(単位:円)

科目	予算額	決算額	備考
会議費	50,000	15,660	会場費等
通信費	300,000	244,483	切手・葉書 郵送代
消耗品費	100,000	76,094	印刷用紙・インク
印刷製本費	1,000,000	950,400	「藤園」「本丁通信」、封筒
備品購入費	50,000	7,700	
書籍購入費	50,000	12,540	
渉外費	50,000	95,768	慶弔費
宣伝広告費	10,000	7,700	ホームページ
事業費	700,000	376,318	「藤園忌」命日祭・供養 75,610 「藤園忌」俳句 260,268 総会&講演会等 40,440
負担金	30,000	15,000	諸会費
事務局費	800,000	763,199	賃金・賃料・光熱水費
手数料	50,000	41,682	郵便振替手数料
基金	0	0	児玉源太郎顕彰会基金へ
予備費	302,927	0	
合計	3,492,927	2,606,544	

(収入) 4,891,836 - (支出) 2,606,544 = (残高) 2,285,292

第6回「藤園忌」  
 児玉神社と興元寺にて  
 遷座百年竣工奉告祭も

児玉源太郎顕彰会は「藤園忌」の7月24日、児玉神社（黒神直大宮司）で命日祭、菩提寺の興元寺（金子清学住職）で供養を営みました。



新たな装いで児玉神社命日祭と竣工奉告祭

児玉源太郎を祭神とする児玉神社では、遷座百年で改修した社殿の竣工奉告祭も併せてありました。拝殿は靴のまま入れるようにして空調設備を備え、建物を耐震化しました。社殿東側には藤棚も作りました。黒神宮司の祝詞が奏上され、山下武右会長らが玉串を捧げ

て遺徳を偲びました。参加者30人の中には藤井律子市長や高村正大衆議院議員らの姿もありました。神事のあと、黒神宮司は「皆さまのおかげで立派に整備されました。市民に親しみのある神社としてお参りいただき、コミュニティの場としても活用されると嬉しいです」と挨拶されました。



児玉家菩提寺の興元寺本堂での供養

児玉家の墓所がある興元寺の供養は本堂でありました。金子住職ら僧侶5人の読経の中、山下会長、卜部博文副会長ら参加者15人が焼

香しました。このあと、児玉源太郎が台湾の景勝地の鷲鷲鼻を訪れて作った漢詩を木本清美さん、石角繁隆さんが稗田泰久さんの尺八で吟じました。興元寺では本堂手前の境内にある立派な経堂を改修中での様子もご案内いただきました。供養のあと、有志で近くの児玉家墓所と児玉源太郎遺髪塔に参拝しました。

「藤園忌」茶会  
 3年ぶりに催す

コロナ禍で2年中止された「藤園忌」茶会は7月23日に周南市文化会館3階展示室で3年ぶりに催しました。

箏や尺八の演奏を聴きながらお茶をいただく茶会は、児玉源太郎顕彰会の事務局を置く周南文化協会の協力で実現しました。茶道連盟（村田園会長）と邦楽連盟（澄田悦子会長）に積極的に関わっていただいています。

今回は茶道連盟の裏千家淡交会の30人と邦楽連盟の7人がお世話してくださりました。気軽にお茶に親しんでもらおうとテーブルと

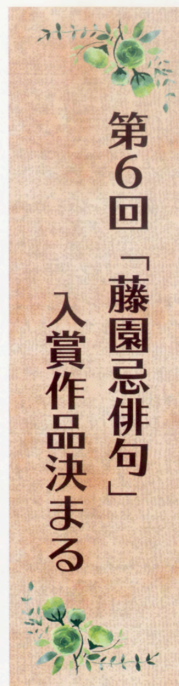


児玉神社社殿前で記念撮影

イスの立礼式で、150人が参加。涼しさを誘う主菓子と一服のお茶を味わって児玉源太郎に思いを馳せていました。顕彰会の山下武右会長は「夏の恒例行事として定着しました。開催できて良かったです。皆さまに感謝します」と挨拶しました。



邦楽を聴きながらお茶を楽しむ藤園忌茶会



# 第6回「藤園忌俳句」 入賞作品決まる

児玉源太郎顕彰会は7月24日の「藤園忌」にちなんだ俳句を6月から7月にかけて募集しました。

俳句は雑詠。「児玉源太郎に関すること」と夏の季節を詠んだ当季雑詠。1人3句まで。107人から300句が寄せられました。無記名清記のうえ、選者の坪内稔典さん（俳人・柿衛文庫理事長）らが選考して特選3点、入選10点、佳作19点の計32点を決定しました。

「藤園忌」は児玉源太郎が書などに晩年使っていた雅号です。児玉源太郎顕彰会を設立した翌年の平成29年から俳句や茶会などの「藤園忌」行事を始めました。源太郎は器量の大きな政治家、軍人として日本の近代化を推進した実力者で、ふるさとは私財を投じて私設図書館「児玉文庫」を作りました。文庫は明治36年から戦災で焼失する昭和20年まで42年間にわたり、教育の向上に大きな役割を果たしました。現在の周南市立中央図書館の前身にあたり、一昨年3



月の中央図書館リニューアルオープンの折、「児玉文庫メモリアル」の愛称が付けられました。

徳山港開港の大江11年遷座祭が行われた児玉神社、台湾から移植された記念樹「タイワンゴヨウ」の松、菩提寺の興元寺、生家跡の産湯の井戸、平成27年に整備された生誕の地など、市内には児玉源太郎をしのぶ史跡があります。入賞作品は次の通りです。

### 特選

- 南吹く児玉大将やつて来た
- 高槻市 松代 享子
- 白南風や児玉文庫の黒格子
- 周南市 堀口 孝子

### 入選

- 菩提寺を涼しき風の通りけり
- 下松市 中田 裕子
- 青風渾名は栗鼠や源太郎
- 下松市 藤井八重子
- 双眸のみなざる力藤園忌
- 周南市 石丸 靖男
- 滴りをひと口含み藤園忌
- 周南市 谷村 道子
- 天を衝く雲湧く沖や藤園忌
- 柳井市 片山 淳子
- 大将の気魄ますます夏の霜
- 周南市 木村しづを
- 夏落暉黙の深さの藤園忌
- 下関市 小田 正夫
- 青田行く移動図書館やまびこ号
- 周南市 山根 志づ
- 祖父からの受け売りファン藤園忌
- 周南市 藤兼 雅幸
- 源さんと声かけてみる藤園忌
- 長門市 山本 康江
- 周南市 山下 武右
- 兒玉町兒玉公園藤園忌
- 周南市 松岡 哲彦
- 敷章の光やはらか花南天
- 今治市 松本 京子
- 藤園忌茶肆の古びし焙釜
- 周南市 熊本 芳郎
- 藤園忌ジャカラランダのこと聞けぬまま
- 周防大島町 村田 光子
- 瀬戸内の潮鳴りひと日藤園忌
- 周南市 林 しずか
- 元帥のゆかりの椅子や若葉風
- 周南市 中坪 光江
- 塩壺に海のくらがり藤園忌
- 下松市 橘 美泉
- 元帥の墨書黒々夏座敷
- 平生町 松村 央美
- 源太郎貫く意志の像涼し
- 香芝市 里井貴美子
- 緑陰は児玉ゆかりの五葉松
- 周南市 木村たけま
- 源太郎伝再読を緑陰に
- 山口市 吉次 薫
- 大将の鳥居仰ぎて夏に入る
- 光市 兼崎 人士
- 白南風や明治の風と児玉の忌
- 周南市 永瀬 昌宏
- 経蔵の漆香涼し藤園忌
- 周南市 片山 滋
- 外国の紙幣のように揚羽蝶
- 松山市 門田なぎさ
- つゆばれの児玉神社で鬼ごっこ
- 光市 掛川 潔

### 佳作

- 声弾む児玉公園緑立つ
- 周南市 山根 隴子
- 下校子のきれいなお辞儀ジャカラ
- 周南市 津森 敏伸
- 田布施町 曾我 欣行
- 蝉声のひねもすこぞり藤園忌

# 第6回藤園忌俳句 表彰式と記念講演

児玉源太郎顕彰会は第6回藤園忌俳句の表彰式と記念講演を9月24日(土)午後2時から周南市文化会館地下展示室で開催しました。俳人で、選者の坪内稔典さん(市立伊丹ミュージアム名誉館長)と久行保徳さん(「草炎」主宰)のご臨席の下、受賞者32人のうち21人と顕彰会会員ら計40人が出席しました。



俳句表彰式

表彰式では、山下会長が顕彰会設立の経緯に触れて「藤園忌俳句が定着してきて今回も県内外からたくさんの方の応募があり、有り難く誇りに思います。このような活動を通じて児玉源太郎のことを広く知っていただけると嬉しいですし」と挨拶しました。受賞者ひとり一人の句を披講しながら特選の松代

享子さんから3人に賞状と賞金、入選の石丸靖男さんから6人に賞状と記念品、佳作の山根瀧子さんから13人に賞状と記念品をお渡ししました。欠席者には後日郵送しました。参加することには後日郵送しました。参加することに意義があり、と毎回応募されていた山下会長も初入选。会場の拍手に照れ笑い、和やかな雰囲気でした。

## 俳句の魅力と作句の心得

### 入賞作品に触れながら

表彰式に続いて、坪内稔典さんの講演に移りました。代表作「三月の甘納豆のうふふふ」などを交えて同じ選者の久行保徳さんがユーモアたっぷりに講師を紹介、坪内さんがマイクを握って興味深いお話をされました。

まず特選について。「南吹く児玉大将やって来た。南吹く、が効果的。司馬遼太郎の『坂の上の雲』



記念講演会での坪内稔典先生

で児玉大将の戦争の話が出てきます。松山出身の陸軍軍人、秋山好古・海軍軍人の真之兄弟が中心人物。テレビドラマ化されて一躍有名に。児玉源太郎も台湾総督、日露戦争総参謀長で知られます。南から児玉大将がやって来たと、意味があります。江戸時代は今より方言がはげしい。俳諧や義太夫の言葉が広がっています。俳句は地方を越えて全国へと。共感を得て伝わります。

「白南風や児玉文庫の黒格子」。

白南風は梅雨の終わりの南風。

白南風と黒格子の白と黒の対が良いです。応募作品を見ると児玉文庫の句が多い。文庫には私も興味があります。皆さんもそこに惹かれるのでしょうか。戦災での焼失は残念ですが、復元されて子どもが集い、一緒に俳句を作るといいなと思います。

「菩提寺や涼しき風の通りけり」。

菩提寺はご先祖さまが眠っておられるのでしょうか。涼しき、が夏の季語。情景が浮かび上がります。新涼、と言えば秋の季語。季語を作ったのは誰でしょう。俳句を作る人が使い、多くの人が使って知られていくと季語になります。「青葉雨」「緑雨」は新しい季語。現代の感覚に合うものは季語になりやすい。春の高校野球は「センバツ」

として有名。「球春」は季語ではないものの新聞では「球春到来」などの見出しが躍ります。

入選、佳作も出席者全員作品に触れて「この言葉が生きている」「言葉の響きがいい」「発想を変えて面白みが出た」「その場の雰囲気立ち上がる」「リズム感があふれている」など受賞者に作句の意図を尋ねたりしながら丁寧に講評されました。

言葉の響き、リズムを大切に、と力説して次のように！。

周南市は私の好きな詩人まどみちおの出身地。代表的な詩「てんぷらびりびり」は何と心地好い響きでしょう。紫蘇の実を揚げている光景が目に見えます。山口県には金子みすゞ、中原中也、山頭火も。いずれも言葉のリズムに敏感で素晴らしい作品を残しています。俳句の心得として短時間で題目を決めて詠むこと。バスや電車で移動中、目にした木々などテーマを絞って詠むと上達します。1日1句とか決めないで緩やかに考えてください。私は願わくはおばさんになりたいです。しなやかに生きて子どものような言葉を使う老人になりたいです。一見してやさしい、そしていろんなことを考えさせてくれる俳句が作れると嬉しいです。



# 児玉神社遷座百年奉賛会の活動

## 子どもにも分かりやすく 源太郎の看板がお目見え

周南市児玉町の児玉神社（黒神直大宮司）に10月13日、児玉源太郎の生涯を分かりやすく描いた看板がお目見えしました。児玉神社遷座百年奉賛会（山下武右会長）が記念事業の一つとして設置、役員ら20人が出席して同日除幕式をしました。



児玉神社参道にお目見えした児玉源太郎の看板

な人だったので「しょうか」と語りかける看板は、生い立ちから幼くして父を亡くし苦勞した少年時代、日清戦争後の検疫事業、台湾総督として果たした近代化への道、日露戦争時に家族へ宛てた手紙の数々、ふるさとのために創設した児玉文庫など5つの場面のイラストを入れて子どもにも分かりやすい表現で人柄と功績を紹介しています。近くにある「生誕の地」の地図や源太郎の歩みを記した年表もあります。

奉賛会の山下会長は「郷土のため、国のために命懸けで働き、明治の近代化に大きな足跡を残しました。若い人たちにもその功績を知ってもらいたい」と話しました。隣の児玉公園で遊ぶ子どもたちや徳山小学校の児童らが早速足を止めて読んでいました。

5場面をクリアファイル5枚組1セットにして11月17日、徳山小学校児童全員に贈呈しました。

### 渡辺利夫講演会

### 「台湾を築いた明治の日本人」

児玉源太郎顕彰会は児玉神社遷座百年奉祝行事の一つとして、アジアに造詣の深い開発経済学者の

渡辺利夫さん（拓殖大学顧問）をお招きして10月22日午後3時から周南市徳山保健センターで講演会を開催しました。

渡辺さんは昭和14年、甲府市生まれ。慶應義塾大学で経済学を学び、筑波大学、東京工業大学の教授、拓殖大学学長、総長を歴任。経済学博士。専門は開発経済学、現代アジア経済論。



記念講演をされる渡辺利夫さん

講演は著書の「台湾を築いた明治の日本人」に基づいて進められました。日清戦争後の兵士の防疫で見事な成果を取った児玉源太郎と後藤新平の手腕は台湾統治でも発揮されました。第4代台湾総督児玉源太郎の指揮の下、民政長官後藤新平は台湾の近代化のために

尽力、その基礎を作り上げました。明治から大正、昭和にかけて多くの有能な技術者が台湾に渡り、立派な仕事を成し遂げました。品種改良を重ねて「蓬莱米」を開発した磯永吉、難工事の末に東洋一の烏山頭ダムを築いた八田與一らの

業績を伝えながら明治の精神と気概を語りました。終わりに明治の言論人福沢諭吉の言葉「不羈独立」

（ふきとくりつ）他から縛られないで自立すること」を取り上げて日本のあるべき姿を示されました。聴講無料。150人がメモを取りながら熱心に耳を傾けました。講演のあと、質問が相次ぎ、会場は熱気に包まれました。聴講者全員に児玉源太郎の生涯を分かりやすく紹介したクリアファイル5枚組1セットをプレゼント、大好評でした。

### 児玉神社遷座百年奉祝祭 80人参列 賑かに

児玉神社で遷座百年奉祝祭が10月23日午前10時から行われました。遷座百年奉賛会の山下武右会長（児玉源太郎顕彰会会長）、徳山毛利家当主の毛利就慶さん、源太郎から数えて4代目の児玉進さん（故人）の妻、紀さん、周南市の藤井律子市長、奉賛会役員ら80人が参列しました。

黒神直大宮司が祝詞奏上。「国の誉れ、郷土の誇り」と祭神の児玉源太郎の功績を称え、世の平安を祈願しました。続いて山下会長らが玉串を捧げて拝礼、参列者も市民代表の藤井市長に合わせて拝礼しました。

このあと、黒神宮司が「藤園忌」命日祭の昨年7月24日に遷座百年奉賛会を設立して以来、今日までの社殿修復を中心とした記念事業



児玉神社遷座百年奉祝祭で謝辞を述べる黒神直大宮司

の経過報告と感謝の言葉を述べられました。奉祝祭終了後、境内で記念撮影をしました。

### 記念式典と祝宴 遠石会館に60人

児玉神社遷座百年の記念式典と祝宴は、周南市遠石2丁目の遠石会館で10月23日正午から催されました。

東京から児玉家の児玉紀さん、長女の中山美奈子さん、孫の桃子さん、康太郎さんをはじめ、周南市の藤井律子市長、土屋晴巳市議会議員、奉賛会や児玉源太郎顕彰会役員ら60人が出席しました。記念式典で奉賛会の山下武右衛門会長は、奉賛会の活動や児玉源太郎の功績などに触れて「記念事業のご協力のおかげで奉賛金もほぼ日

標準に達し、社殿修復を中心とした事業を予定通り実施できました。



祝宴で披露された「浦安の舞」

年に寄せられた皆様方の篤い思いに感謝します」と挨拶しました。続いて原田康宏副会長（児玉神社責任役員）が映像を交えて記念事業報告をしました。

市長と市議会議長の祝辞のあと、祝宴に移りました。おめでたい席で披露される「浦安の舞」の奉奏があつて、徳山商工会議所の宮本治郎会頭の発声で乾杯、和やかに懇談しました。

記念式典の控室では呈茶席も用意、裏千家淡交会の村田園さん、卜部シゲ子さんらがお抹茶でもてなされました。

記念式典には多くのお祝いのメッセージが寄せられました。前日の講演後、所要のため帰京された渡辺利夫さん（拓殖大学顧問）からは次のようなメッセージが届きました。

「明治は多くの逸材を輩出した時代で、児玉はその最も代表的な人物だと言っている」と思われま

す。児玉は一代の軍政家として『陸軍とはすなわち児玉のことだ』と人々に言わしめるほどの高い評価を得ておりました。台湾のしば口を開いたのも第4代総督児玉源太郎の功績であります。遷座百年を機に、そして緊迫に満ちたこの時代に児玉のことを偲び、その事績に深い思いを馳せようではありませんか。

### 源太郎のふるさと 児玉家の皆々も寛ぎの時を

児玉神社遷座百年の節目に児玉源太郎のふるさとで10月22日と23日の二日間を過ごされた東京の児玉家当主、児玉紀さん、長女の中山美奈子さん、孫の桃子さん、康太郎さんの四人は「ふるさとの皆様方の温かいおもてなしに心が和みました。ありがとうございます」との言葉を残されて帰京されました。

22日は午後1時半から周南市美術博物館で藤井律子市長から感謝状の贈呈がありました。児玉家からはこれまで数々の貴重な歴史資料の寄贈を受け、今も児玉源太郎や乃木希典の書、山県有朋が児玉源太郎の逝去で詠んだ失意の歌など9点が寄せられました。82歳の紀さんの後を受け継ぐ覚悟を決めた24歳の康太郎さんが感謝状を受け取りました。

美術博物館では、次世代に継承するという使命の下に歴史資料、文化資料を収蔵しています。児玉家からの貴重な資料も機会をみて展示する予定です。

午後3時からは周南市徳山保健センターでの渡辺利夫講演会を聴講。翌日の23日は午前10時から児玉神社遷座百年奉祝祭、正午から遠石会館での記念式典と祝宴に出席、奉賛会や児玉源太郎顕彰会、地元企業などふるさとの人たちと親しく懇談されました。

東京で生まれ育った長女的美奈子さん一家は久しぶりの帰郷。児玉神社、生誕の地、児玉家墓所と源太郎の遺髪塔などを訪ねるとともに、ふるさとの温かい歓迎に感慨深い面持ちでした。「おかげさまで寛ぎのひとつときを持ってました。これからもどうぞよろしくお願ひいたします」と紀さんにはこやかに話されました。



祝宴後に和やかに懇談される山下武右衛門会長（中央左）と児玉紀さん（中央右）左から副会長の林靖彦さん、卜部博文さん右から児玉桃子さん、康太郎さん

窓

『台南聖廟考』復刻  
周南市の佐伯伸治さん

周南市櫛ヶ浜在住の佐伯伸治さんが、台南の孔子廟の大改修の記録をまとめた『台南聖廟考』を復刻しました。台南聖廟は台湾最古にして最高の教育機関であったと言います。

著者は山田孝使やまのたか。明治7年(1874)岡山に生まれ、28歳の時に台湾に渡り、総督府に勤務。大正4年(1915)に鄭成功を祀った縣社開山神社の沿革史を執筆、3年後の大正7年に『台南聖廟考』を刊行しました。

佐伯さんのご子息の妻の高祖父が山田孝使。この本のことを知って「残部僅少、値が張った。迷った挙句、令和3年2月、勢いで注文した」とあとがきに記しています。届いて読みながら心が動きました。大改修を主導し、本の序文を書いた枝徳えだのりは嘉南大圳かなんたいせんプロ



復刻された『台南聖廟考』

ジエクトの大功労者。本の発行人高島怡三郎は高名な韓石泉医師の恩人などこの事業に関わった人たちの貴重な記録で、後世に残したいと復刻を決めました。復刻本は今年7月、児玉源太郎顕彰会の山下武石会長に届けられました。

お問合せは、佐伯伸治さん(電話0834・25・0143)へ。

満州軍総司令部の凱旋  
当時の新聞と写真届く

戦時中に台湾で流行していた「幌馬車の唄」の資料を昨年7月に寄せてくださった広島在住の上松敏弘さんから児玉源太郎顕彰会にこのほど、満州軍総司令部の凱旋の模様を伝える広島芸備日日新聞の写真が届きました。いずれも複製ですが、日露戦争後の広島での歓迎ぶり、滞在の様子がよく分かります。

この1年間、広島県立文書館に足を運び、当時の新聞や資料、自宅の書棚の関連書籍などを調べ、「再現！満州軍総司令部『宇品』に凱旋」としてA4判6頁にまとめられました。明治38年(1905)12月3日の満州軍総司令部の凱旋と宇品における大山巖一行の凱旋式の複製写真、「宇品港」関連映像集も添えてありました。上松さん、ありがとうございます。

トピックス

源太郎ゆかりの地  
台湾と周南をつなぐ  
日台絆弁当

児玉神社遷座百年を記念して周南市の遠石会館は特製「日台絆弁当」を作りました。大変好評です。

源太郎ゆかりの地「台湾」と地元「周南」の食材を取り入れた弁当で主食のご飯は山口県産米「ひのひかり」。日本のメニューは周防鯉梅肉のせ、周南蛸柔らか煮、魚塩焼き、煮物など、台湾は海老チリソース和え、豚オレレンジ煮、油琳鶏、小籠包など盛りだくさん。

日本の桜、台湾の梅と両国の国花を型取りした大根と人參の甘酢漬けは見た目も味も良くて、「とし」の焼き印が入った厚焼きたまごは弁当の締めにも最適です。家族と友だちと三度もいただきまし



日本と台湾の食材を用いた日台絆弁当

が企画した3年前の台湾の旅を思い起こし、再度の旅への期待が高まりました。

(顕彰会事務局・片山園江)

山口学芸大学特別講義

「台湾総督児玉源太郎と周南」

下関と釜山、周南と台湾、周防大島とハワイの関係を学ぼう。山口学芸大学で国際論を教える福屋利信客員教授が「地域理解」の集中講義をしました。その一つとして「第4代台湾総督児玉源太郎と周南」について特別講義の依頼があり、9月8日に1年生と2年生45人を対象にお話ししました。

福屋先生とは平成28年6月に児玉源太郎顕彰会を発足して以来のお付き合い。会報「藤園」やニュースレター「本丁通信」に何度も寄稿していただいています。

今回は福屋先生が台湾の歴史と現状などを事前に講義されたことを受けて児玉源太郎が総督在任中の8年余り、民政長官後藤新平の力を得て近代化の基礎を作ったことやふるさと周南での顕彰活動などを顕彰会事務局長の立場で紹介しました。DVD「児玉源太郎未来を築く」(全3巻)を活用、とても役立ちました。

(顕彰会事務局長・西崎博史)

編集後記

児玉神社遷座百年奉賛会の活動を詳しくお伝えしました。皆様方のご協力で実り多き年になりました。

誠にありがとうございます。